

第3学年及び第4学年の内容項目はどのように改訂されたのですか。

★ ポイント

学習指導要領における視点をAからDのまとまりで示し、第3学年及び第4学年では、「相互理解、寛容」「公正、公平、社会正義」の内容項目が新設されています。

これまでの改訂内容との比較を改訂の理由及び文言の新設・変更（旧→新）等以示します。

第3学年及び第4学年

視点	内容項目	改訂の理由	文言の変更・追加等
A	(1) 善悪の判断, 自律, 自由と責任	正しいと判断したことはしっかりやり抜くことができるようにするため	変 更 ↓ 新 「勇気をもって行う」 ↓ 新 「自信をもって行う」
	(2) 正直, 誠実	明朗さを簡潔に示すため	変 更 ↓ 新 「正直に明るい心で元気よく生活する」 ↓ 新 「正直に明るい心で生活する」
	(3) 節度, 節制	自分の安全に気を付けて生活ができるようにするため	変 更 ↓ 新 「よく考えて行動し, 節度のある生活をする」 ↓ 新 「安全に気を付け, よく考えて行動し, 節度のある生活をする」
	(4) 個性の伸長	主体性をもって個性を伸ばすことができるようにするため	変 更 ↓ 新 「よい所を伸ばす」 ↓ 新 「長所を伸ばす」
	(5) 希望と勇気, 努力と強い意志	目標に向かって努力できるようにすることを重視するため	変 更 ↓ 新 「自分でやろうと決めたことは, 粘り強くやり遂げる」 ↓ 新 「目標に向かって, 強い意志をもち, 粘り強くやり抜く」
B	(11) 相互理解, 寛容	自分と異なる立場や考え方を理解して, 望ましい人間関係を構築できるようにすることを重視するため	新 設 「自分の考えや意見を相手に伝えるとともに, 相手のことを理解し, 自分と異なる意見も大切にすること」

C	(12) 規則の尊重	主体性をもってきまりや規則を守ることを重視するため	変更	旧「約束や社会のきまりを守り、公德心をもつ」 ↓ 新「約束や社会のきまりの意義を理解し、それを守る」
	(13) 公正，公平，社会正義	差別や偏見をもつことなく，より一層集団や社会との関わりをもてるようにするため	新設	「誰に対しても分け隔てをせず，公正，公平な態度で接すること」
	(15) 家族愛，家庭生活の充実	主体的に人との関わりを捉えることができるようにするため	変更	旧「生活を支えている人々や高齢者」 ↓ 新「家族など生活を支えてくれている人々や現在の生活を築いてくれた高齢者」
	(16) よりよい学校生活，集団生活の充実	自分と学校との関わりについても考えられるようにするため	変更	旧「楽しい学級をつくる」 ↓ 新「楽しい学級や学校をつくる」
	(17) 伝統と文化の尊重，国や郷土を愛する態度	郷土及び国との関わりに関する内容を統合するため	変更	「我が国や郷土の伝統と文化を大切にし，国や郷土を愛する心をもつ」
	(18) 国際理解，国際親善	多様な文化を尊重し，国際親善に努めることを重視するため	変更	「他国の人々や文化に親しみ，関心をもつ」 ※明記
D	(19) 生命の尊さ	生命の尊さを自分との関わりで理解できるようにするため	変更	旧「生命の尊さを感じ取り」 ↓ 新「生命の尊さを知り」
	(20) 自然愛護	自然との関わりを明確にするため	変更	旧「自然のすばらしさや不思議さに感動し」 ↓ 新「自然のすばらしさや不思議さを感じ取り」